

秦野市手をつなぐ育成会会報

令和2年
第364号

— 9月号 —



広報推進委員会
発行責任者：相原和枝
(連絡先：84-2241)

【目次】

- * 秦野精華園『希望の丘』見学報告————— 1
- * 圏域自立支援協議会結果報告（質問と回答）————— 2
- * 成年後見に関する意見交換会の報告————— 3
- * 今年度の防災訓練について————— 4～7

【行事予定】

*9月5日（土） ◆ 9月定例理事会⇒幹事会（第4会議室）10：00～12：00

会員の皆様

行事の中止や延期にご理解を頂き感謝申し上げます。

「たけのこ学級」ですが今年度（R3.3月まで）の活動が中止となりました。

学級生の方はご承知おきください。

引き続きコロナ対策（三密を避ける）をよろしく願います。

また皆さんと元気で会えますように！！

【チャリティーボックスのお礼】

令和2年度前期の収入は、6,858円ありました。チャリティーボックス設置者及びご寄付していただいた方に感謝申し上げます。ご寄付いただいた金額は、大切に会の運営に活用させていただきます。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

事務局 清水



《育成会ホームページ》

hadanoikuseikai.com

秦野精華園『希望の丘』見学の報告

8月になり急に暑い日が続いて、コロナ感染と熱中症の心配が出てきました。会員さんの中でも「発熱をしてどちらかわからないのでPCR検査を受け、陰性で熱中症でした」と言う話を聞きました。

家族がコロナに感染すると家庭内感染になる方が多く、発熱すると感染を疑ってしまいます。

9月1日（火）に秦野精華園の希望の丘を永井園長様に声掛けを頂き、会長、副会長2名の3人で、永井園長様の案内で見学させていただきました。

コロナ対策の、受付で検温、マスク着用、密にならないことを心掛け詳しく説明を受けました。その中で秦野精華園では神奈川県からの依頼で、障害者、痴ほう等の高齢者のコロナ擬陽性者、無症状、軽症者の部屋が10床用意されている所の見学もさせていただきました。問い合わせは数件あったようですがまだ使用はないそうです。

秦野市でも9月1日現在33名の感染者が発表されていますが、感染者の家族がいじめにあったり、学校、保育園等で受け入れが出来にくくなったりと平常の生活に支障がきています。

私たち手をつなぐ育成会の会員の中には、障害児者が家族にいるという事で、兄弟がいじめにあったり、親も子も傷ついてきたことを思い出しました。状況は違うにしても偏見やいじめは誰の為にもなりません。言葉や行動には注意していきたいと思います。

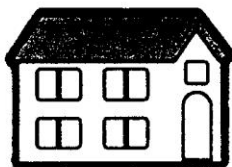
ある施設の職員の方が「自宅には高齢の親がいるので、感染拡大後、アパートを借りて一人暮らしをしています」というお話を聞き、そこまで危機感があるのかと改めて感じました。こういう方々がいることにより障害者の方々の日々の生活が守られていると思いました。

医療従事者の皆様、施設等職員の皆様、関係機関の皆様に感謝申し上げます。

一日も早く感染症が収まり皆で楽しく行事が出来ますように！

相原

*今年度安否確認が出来ませんでした。そこで全戸に防災品を配布させていただきます。



令和2年度第1回湘南西部障害保健福祉圏域自立支援協議会 結果報告(質問と回答)より【抜粋】

質問 2	<p>〈質問者: 秦野市手をつなぐ育成会〉</p> <p>「熱が出て心配なので、県に何度か電話をしてもつながらず、どうして良いのか分からず不安でした」という話がありました。何かつながりやすい方法がありますか。</p>
回答	<p>〈回答者: 平塚保健福祉事務所秦野センター〉</p> <p>コロナ禍での発熱症状ということで、すぐにでも対応についてご相談されたかったこととお察しいたします。お加減が悪い中、県の相談機関の電話が繋がらず、不安な思いを抱かせてしまい大変申し訳ございませんでした。</p> <p>現在、県では新型コロナウイルス感染症に関する電話相談は、下記の帰国者・接触者相談センターで24時間対応しておりますが、多数お問合せをいただき電話が繋がりにくく、皆様には大変ご迷惑をおかけ致しております。</p> <p>秦野市・伊勢原市にお住まいの方で県の帰国者・接触者相談センターにおかけになり、つながらない場合は、平塚保健福祉事務所秦野センターにおいても相談をお受けしておりますので、どうぞ、下記の番号まで御連絡ください。</p> <p>また、基礎疾患があり症状に変化がある方、新型コロナウイルス感染症以外の病気が心配な方は、まず、かかりつけの医師に電話でご相談されることをお勧めします。さらに、体調が悪化したり、急変するようであれば、救急車をお呼びください。</p> <p>最近では、県内の新規感染者数も増えてきております。皆様におかれましては、今後も引き続き、日常生活において「まめな手洗い」、「手指消毒」、「換気」、「マスクの着用」「3密の回避」(密集・密接・密閉)を実施し、感染防止に努めていただきたいと思います。</p> <p>発熱や風邪の症状がある場合は、無理をせず自宅で療養し、相談・受診をするようお願いいたします。</p> <p>*相談の目安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等のいずれか強い症状がある方 ・基礎疾患がある方や高齢者など重症化しやすい方(*注意)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある方 ・上記以外で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く方(4日以上続く場合は必ずご相談ください) <p>*重症化しやすい方とは</p> <p>高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方</p> <p>*電話での相談が難しい方(視覚、聴覚、言語障害をお持ちの方)</p> <p>聴覚に障がいのある方をはじめ、電話での相談が難しい方で、「帰国者・接触者相談センター」へのご相談をご希望の場合は、(1)電話での相談が難しいこと、(2)帰国者・接触者相談センターへの相談であること、(3)現在の症状(いつからどんな症状があり、現在はどのような状態か、医療機関は受診済みかなど)をご記入の上、ファクシミリ(045-285-0216)でお送りください。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〈相談窓口〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○帰国者・接触者相談センター(24時間対応) 電話(0570)056799 ○平塚保健福祉事務所秦野センター(秦野市・伊勢原市にお住まいの方) <li style="padding-left: 20px;">平日(8:30~17:15) 電話(0463)82-1428 <p>※平塚市・大磯町・二宮町にお住まいの方は、平塚保健福祉事務所にて相談を受付けております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="padding-left: 20px;">平日(8:30~17:15) 電話(0463)32-0130 </div> <p style="text-align: right;">以上</p>

「成年後見」に関する意見交換会のご報告

7月4日(土)「NPO法人総合福祉サポートセンターはだの」と「手をつなぐ育成会」とで成年後見に関する意見交換会の場を設けて頂きました。そこでお話した内容についてご報告します。

「親亡き後に備えて、何をしたら良いか？」というご相談を受けることがありますが、本日は視点を変えて「親あるうちに出来ること」についてお伝えします。

親亡き後にご両親が心配されることの一つに、ちゃんと支援してくれるのか？ということが挙げられると思います。この「ちゃんと」という内容について、ご両親が健在な間は、支援者に伝えていくことが出来ると思いますが、親亡き後は心配になりますよね？

その解決策の一つとして、育成会が発行している「わたしの記録」や「引継ぎノート」などの活用が挙げられます。「記録」や「ノート」を目の前にすると、人は「全部埋めなくては…」と思うものですが、記録を引き継ぐ側としては「全部埋まっていなくても、何も無い時より選択肢が広がる！」というのが正直な感想です。

“何かを書く”ということが苦手な方は、支援者にご本人の事を話す機会を持って欲しいです。子供の頃のことや、これからのこと、将来の心配ごと…。何も伝わらないまま、その時を迎えるのではなく、小出しにしていくことで、支援者が知らないご本人のことを知ってもらう機会を持ち、親亡き後に安心して任せられる支援者を増やしてみませんか？

あと、「親あるうちに出来ること」として、もうひとつご提案したいのは「体験の共有」です。ひとつ事例をご紹介します。

ご本人とお母様は日本全国、旅行をするのが趣味。あと残すは、数県のみ…というところで、残念ながらお母様が他界されました。面会時には、ご本人は「お母さ～ん」と言って泣くことがありましたが、ある時からお母さんと一緒に行った旅行の話をしてくれるようになり、今では、私の旅行先を決める際のアドバイザーになってくれています。

家族を亡くした辛い時期を過ぎた後に、家族との楽しい思い出を話すことが出来る、家族以外に話す相手(後見人)がいる。お母様は親亡き後に向けて、素敵な思い出をたくさん残してくれたんだな…と、“思い”を感じました。

「いくらお金を残せばよいのか？」というご質問をいただくことも多いですが、お金は無ければ無いで、生活保護を利用するなどして、どうにかなるものです。でも、外出や旅行は親亡き後、どんなにお金があっても“叶えにくい”と思うことが多くあります。

ご家族が年齢を重ねると同時に、ご本人も年齢を重ねていきます。お互いが元気なうちに、親あるうちに、お金に代わる財産(経験や思い出)を本人と一緒に作っていくことも、親亡き後の備えのひとつ…と考えてみてはどうでしょうか？

最後に、「NPO法人総合福祉サポートセンターはだの」は今後も「法人後見」の立場で人権や生活を守るべく、行政とも連携しつつ取り組んでまいります。引き続き育成会の皆様からもご支援の程よろしく願いいたします。

NPO法人 総合福祉サポートセンターはだの
主任 山中 啓子

今年度の防災訓練について

今年度の育成会防災訓練(安否確認)は新型コロナウイルスへの感染予防と熱中症予防のため中止と致しました。

皆様には自粛生活の今、ご家庭でできる防災訓練として1.日頃の備え、2.災害時の備えに分けて記してありますので、ご参考にしてください。

今やろう！

1.日頃の備え

「備えあれば憂いなし」、こと生活、命に関わる災害に対して「日頃の備え」は欠かせません。一人ひとりの家族が、防災について普段から真剣に向き合う姿勢が大切です。そして地域の人たちと話し合いましょう。そこから防災に対する正しい知識が身につく、次第に何が不足しているかが、はっきりと見えてきて、具体的な備えとなっていきます。

- ① 家族で、いざという時のことについて話し合い役割を決める
- ② 知的障害児・者が通う学校、福祉施設、作業所、職場の災害時対応を把握する
- ③ 電車・バス・建物の中・歩いている時等、各被災場所での行動を意識する
- ④ 家庭内の家具・電化製品の転倒、落下防止の防災対策
- ⑤ 必要最小限の防災用品を常備
- ⑥ 非常持出品の準備
- ⑦ 避難場所へ実際に歩いてみる。
- ⑧ 災害伝言ダイヤル171の使い方を取得
- ⑨ 隣近所、自治会、民生委員とのコミュニケーションを図る
- ⑩ 住まいの耐震診断

⇒ 阪神・淡路大震災で倒壊した建物の多くは、旧耐震基準により建てられたものでした。(昭和56年6月1日より建築基準法改正が行われ、新耐震基準となりました)旧耐震基準で建築された住宅にお住まいの方は、秦野市の補助制度を活用して、耐震診断およびその結果に応じた補強工事への補助制度があります。

詳細は、<http://www.city.hadano.kanagawa.jp> (秦野市都市部建築指導課)

2. 災害時の備え

いざという時に役に立つ物品を、下表にまとめました。

リュックサックに入れて直ぐに持ち出せる物と、家庭内に準備しておく物とに分けて備えましょう。

2-1 備蓄ユニットリスト

日頃から自宅で利用、活用している物を少し多めに備えるという考えが「日常備蓄」ですが、各家庭の抱える環境は様々です。各々の生活スタイルに応じて、自宅で避難生活を送るために備えておくべき品目や量を考え、「備蓄ユニット」として揃えておくことが重要です。

参考モデル：夫婦と子供(乳幼児)高齢女性の4人家族

日常使い(常にキープしておく分)		災害への備え
<input type="checkbox"/> 水(飲料水、調理用など)20・12本 <input type="checkbox"/> カセットコンロ1台 ポンベ6本 <input type="checkbox"/> 常備薬・市販薬		<input type="checkbox"/> 簡易トイレ約30回分 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 2個 乾電池 <input type="checkbox"/> 手回し充電式などのラジオ
食品	<input type="checkbox"/> 主食 無洗米5Kg、レトルトご飯6個 乾麺1パック 即席麺3個 <input type="checkbox"/> 主菜 缶詰(肉、魚、野菜など)6缶 <input type="checkbox"/> レトルトパック9パック <input type="checkbox"/> 野菜ジュース9本 <input type="checkbox"/> 飲料500ml・6本 <input type="checkbox"/> お菓子類・適量 <input type="checkbox"/> 栄養補助食品3箱、健康飲料粉末1袋 <input type="checkbox"/> 調味料各1式	
生活用品	<input type="checkbox"/> 大型ポリ袋・ごみ袋 各30枚 <input type="checkbox"/> ポリ袋 <input type="checkbox"/> ラップ1本 <input type="checkbox"/> 救急箱 <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー5個入5パック <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー12ロール <input type="checkbox"/> 除菌ウェットティッシュ1箱 <input type="checkbox"/> 使い捨てコンタクトレンズ1か月分 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ10箱 <input type="checkbox"/> 点火棒・ライター	<input type="checkbox"/> 携帯電話の予備バッテリー (携帯電話の台数分) <input type="checkbox"/> ラテックス手袋1箱
女性	生理用品	
乳幼児	<input type="checkbox"/> スティックタイプの粉ミルク約20本 <input type="checkbox"/> 離乳食1週間分以上 <input type="checkbox"/> お尻拭き1パック <input type="checkbox"/> おむつ約70枚	
高齢者	<input type="checkbox"/> おかゆなどのやわらかい食品1週間分 <input type="checkbox"/> 常備薬(処方薬)1か月分	

日常使い(常にキープしておく分)		災害への備え
高齢者	<input type="checkbox"/> 補聴器用電池6個 <input type="checkbox"/> 入れ歯洗浄剤約30錠	

2-2 非常持ち出し袋

避難した際、当面必要となる最小限の品を収めた袋が非常持ち出し袋です。

非常持ち出し袋の中身は、それぞれ自分にとって必要な物を考え、準備する事が重要です。それらをリュックなどに入れ、玄関の近くや寝室、車の中、物置などに配置しておけば、家が倒壊しても持ち出す事が出来ます。

<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 毛布	<input type="checkbox"/> 食品	<input type="checkbox"/> 哺乳瓶
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 電池	<input type="checkbox"/> インスタントラーメン	<input type="checkbox"/> 現金
<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> ライター	<input type="checkbox"/> 缶切り	<input type="checkbox"/> 救急箱
<input type="checkbox"/> 防災頭巾	<input type="checkbox"/> ろうそく	<input type="checkbox"/> ナイフ	<input type="checkbox"/> 預金通帳
<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> 印鑑

2-3 持ち歩き用非常持ち出し袋

外出時に被災した時のために、常に持ち歩くカバンに最低限必要なアイテムを入れておきましょう。携帯ラジオの電池は外しておきます。

<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> ライト	<input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> 携帯電話用充電器
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ	<input type="checkbox"/> 携帯トイレ	<input type="checkbox"/> ホイッスル	<input type="checkbox"/> 小銭
<input type="checkbox"/> エマージェンシーセット・ブランケット	<input type="checkbox"/> マップ	<input type="checkbox"/> 水筒	

2-4 職場用非常持ち出し袋

会社で用意する以外の物を独自に備えます。会社に泊まる事や、歩いて自宅まで帰る事を想定したアイテムを考えて準備してください。

<input type="checkbox"/> 歩きやすい靴	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> ライト
<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 軍手	<input type="checkbox"/> 寝袋	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ
<input type="checkbox"/> レインコート	<input type="checkbox"/> 水筒		

2-5 まとめておきたい大切な物

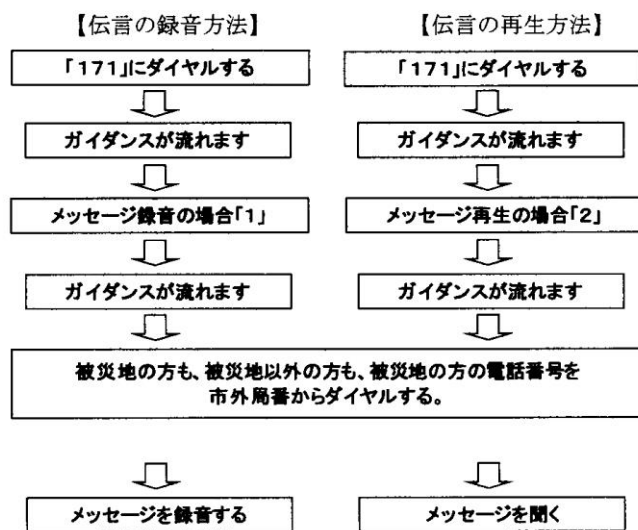
紙製の証書や証明書、印鑑などはファスナー付きビニールケースに入れておくと、防水にもなります。万一のために家族の写真を持ち歩くのも良いでしょう。

<input type="checkbox"/> 家族の写真	<input type="checkbox"/> 免許証	<input type="checkbox"/> 年金手帳	<input type="checkbox"/> 貯金通帳
<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 印鑑	<input type="checkbox"/> お薬手帳	

東京都総務局総合防災部防災管理課発行「東京防災」より引用

3. 災害伝言ダイヤル「171」

阪神・淡路大震災の教訓にて、NTTによって災害伝言ダイヤルサービスが提供されることになりました。被災地域内や、その他の地域の方々との「声の伝言板」です。被災地の方が録音した安否等に関する情報を、他の地域の方が聞くことができるほか、他の地域の方から被災地の方へメッセージを送ることも可能です。



※毎月1日と15日に模擬体験が出来ます。